

日本医師会×JD.LEAGUE 合同記者会見

ニトリJD.LEAGUE 2026 日本医師会後援によりピンクリボン運動を実施

日本医師会 定例記者会見
2026年9月9日(水) 15時00分～



OUR MISSION

ソフトボールで 社会に笑顔を

「9人で守るグラウンドから、9人に1人の未来を守る。」

「9人に1人」

の日本人女性が乳がんと診断されています。



- ・全会場で啓発ポケットティッシュを配布
- ・選手がピンクのアイテムを身につけて試合

- ・ピンクキャップ1600個を配布！
球場をピンク色に染める！
- ・全チームの選手が出演の啓発動画をSNS発信
- ・全チーム ピンクキャップ着用
- ・全審判員がピンクウェアとキャップを着用
- ・啓発リーフ配布

日本医師会とのタイアップへと進展



地域やファンの皆さまと広げる啓発アクション！

例えば…

ピンクのアイテムを身につけ球場へ歩こう「ピンクウォーク」
全国どこからでもSNSで参加できる「デジタル・ピンクウォーク」
球場に乳がん検診車を設置し「観戦ついでに検診」
選手や専門医と一緒に学ぶ乳がんの基礎知識「オンラインセミナー」

などの実施を継続的に検討

2022年
(JDL発足初年度)

2024年

2023年

2025年

2026年
(創立5周年)

2028年
まで継続



- ・全チーム ピンクユニフォームとキャップ着用
- ・全審判員がピンクウェアとキャップを着用
- ・ピンクタオル1,000枚を配布
- ・全チームの選手が出演の啓発動画をSNS発信

- ・10月開催の全会場で、啓発リーフを配布



①ダイヤモンドをピンクに染める！

- ・ニトリJDリーグが創り出す『ピンクの絆』
- ・全選手と審判が、ピンクユニフォーム/キャップを着用



②ブレスト・アウェアネスの普及！

- ・乳がんを意識する生活習慣「ブレスト・アウェアネス」
→日本対がん協会様提供のリーフレットを会場で配布
- ・JDリーグ選手による啓発動画の配信



③ 応援を支援に繋げるチャリティー！

- ・ピンクリボン運動限定グッズをチャリティー付きで販売
- ・選手が着用したキャップでチャリティーオークション開催
→グッズ売り上げの一部とオークションの収益を
「ほほえみ基金（日本対がん協会）」へ寄付



タオルデザインイメージ



キャップデザインイメージ

④ 持ち帰れる小さなきっかけ！

- ・ニトリJDリーグ×日本医師会が届ける
「小さなピンクリボンの大きなメッセージ」
- ・見るたびに想う、大切な人の健康
- ・来場者約18,000名様全員に、啓発ステッカーを配布
(その他、医師会関係団体など合計25,000枚を配布)



▼10月開催の全8ラウンドにて実施

第12節：10月9日(金)～12(日)月

高崎ラウンド @宇津木スタジアム（群馬県高崎市）
甲賀ラウンド @甲賀市民スタジアム（滋賀県甲賀市）
横浜ラウンド @サニーフォー保土ヶ谷球場（神奈川県横浜市）
豊田ラウンド @豊田市運動公園野球場（愛知県豊田市）

第13節：10月23日(金)～25日

姫路ラウンド @姫路ウイंक球場（兵庫県姫路市）
大宮ラウンド @レジデンシャルスタジアム大宮（埼玉県大宮市）
京都ラウンド @山城総合運動公園野球場（京都府京都市）
大垣ラウンド @大垣市北公園野球場（岐阜県大垣市）

▼実施イメージ

【ピッチャーマウンド】

ピンクリボン活動に従事するタレントや医療関係者による
始球式の実施

【ファン】

ピンクリボン運動限定グッズの販売とチャリティーオーク
ションを実施、利益の一部を寄付

【グラウンド】

全選手・審判が、ピンクユニフォームおよびキャップ着用

【バックスクリーン】 JDリーグ選手を起用した啓発動画の放映

【スタジアム外周】

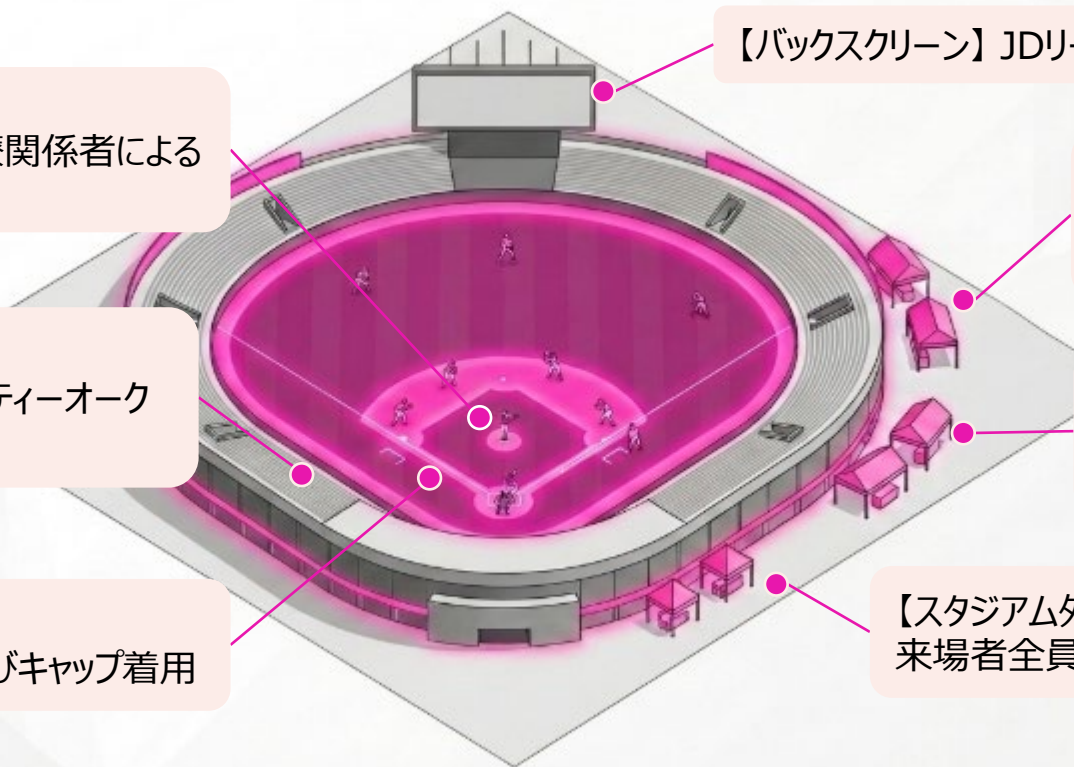
JDリーグ選手を起用した啓発ポスターの掲示

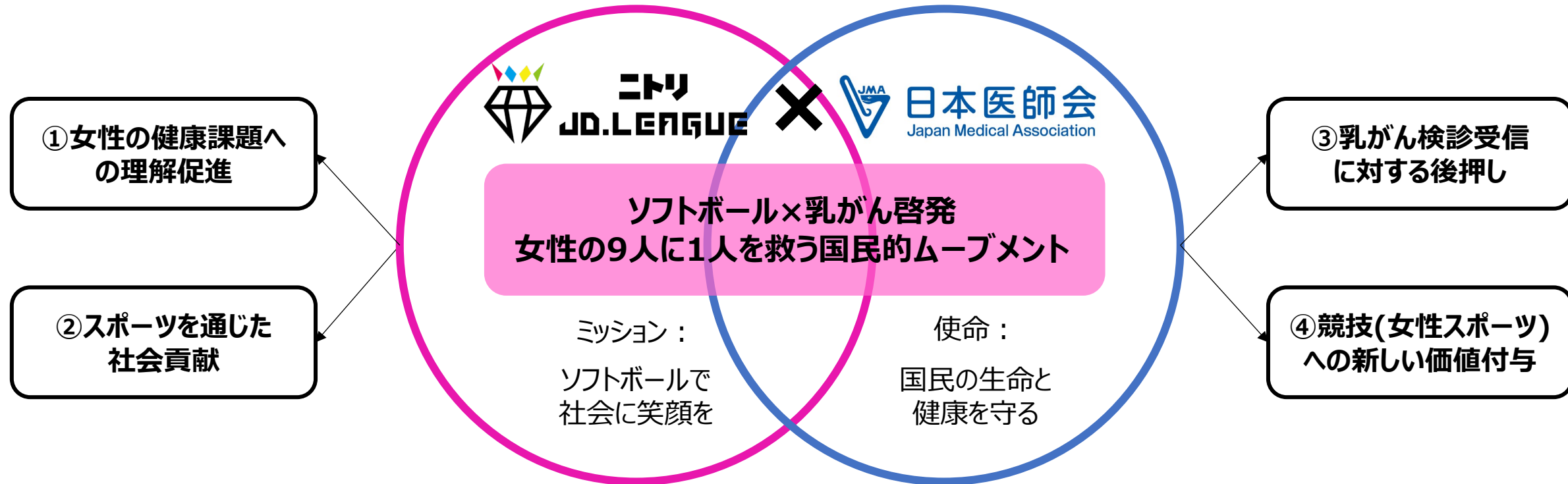
【スタジアム外周】

開催地県医師会・自治体などと協業による
「乳がん啓発ブース」の設置

【スタジアム外周】

来場者全員に、啓発リーフレット、啓発ステッカーの配布





「9人で守るグラウンドから、9人に1人の未来を守る。」

私たちは、たくさんの人の声に耳を傾けながら、2028年まで継続してピンクリボン運動を促進してまいります。

ピンクウォーク | ピンクのアイテムを身につけ球場へ歩こう

スタジアム検診 | 試合観戦のついでに受診できる「検診車」を設置

デジタル・ピンクウォーク | 全国どこからでもSNSで参加できる運動啓発

オンラインセミナー | 選手や専門医と一緒に学ぶ乳がんの基礎知識